



朝霞地区医師会

地域包括ケア支援室便り

No.7

令和3年度8月号



オリンピックが開催されましたが、8月に入り緊急事態宣言が埼玉県にも出されました。医療・介護に従事してられる皆様もお忙しくご活躍のことと存じます。さまざまな意見がある中ではありますが、医療・介護を必要としてられる方がいる限り、いまできることを可能な中で対応していきましょう。

◎今年度はこんな事業を考えています(事業計画)!!

地域包括ケア支援室は、朝霞地区4市から業務委託を受けて運営しています。毎月、支援室と4市の担当課職員による定例の打合せを行い、年度計画や事業運営等について意見を交わし事業に臨んでいます。

今年度は、在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面「①入院支援」「②多職種協働による日常療養生活の支援」「③急変時の対応」「④患者が望む場所での看取り」に対応した事業を計画しました。

①入院支援

昨年度作成した朝霞地区入院支援ルール of 普及・モニタリングの実施

②多職種協働による日常療養生活の支援

MCSの普及啓発、朝霞地区の訪問看護ステーションネットワークづくり
在宅緩和ケア地域連携事業(県受託事業)

③急変時の対応

救急隊との連携(検討中)

④患者が望む場所での看取り

医療・介護職対象にACP研修会の開催
住民へACPの啓発

◎新たに「朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議」を設けました!!

朝霞地区の病院と地域を繋ぐ体制づくりを、医療・介護・行政で取組みます。委員は右記の通りです。委員の皆様宜しくお願ひします。





	浅井 彰久	医師	朝霞地区医師会 (TMGサテライトクリニック朝霞会)
	出浦 恵子	歯科医師	朝霞地区歯科医師会副会長 (でうら歯科医院)
	大八木 実	薬剤師	朝霞地区薬剤師会副会長 (フレンド薬局)
医療	上島 郁	看護師	新區志木中央総合病院(看護部)
	山岸 史郎	MSW	桜葉病院(入院支援室)
	森田 康昭	理学療法士	埼玉理学療法士会 (TMG宇田中央病院)
	中村 実	作業療法士	埼玉県作業療法士会 (TMGあまが医療センター)
	鈴木千恵子	看護師	埼玉県訪問看護ステーション協会 (よくら訪問看護ステーション)
	恩田 恵	歯科衛生士	埼玉県歯科衛生士会朝霞支部
	山口はるみ	管理栄養士	埼玉県栄養士会 (NPO法人ぽけっとステーション)
	石川 郁美	看護師	介護老人保健施設ナーシングホーム和光
介護	本多 真人	介護支援専門員	新區ケアネットワーク会会長
	佐々木和子	保健師	朝霞市地域包括支援センター内閣木苑
	石橋 真澄	主任介護支援専門員	志木市高齢者あんしん相談センター様・幸町
	岩田 由実	主任介護支援専門員	和光市南地域包括支援センター
	稲垣 一久	主任介護支援専門員	新區市西部高齢者相談センター
行政	朝霞市	朝霞市役所	長寿はつらつ課
	志木市	志木市役所	長寿応援課
	和光市	和光市役所	長寿あんしん課
	新區市	新區市役所	介護保険課
アドバイザー	朝霞保健所	総務・地域保健推進担当	



◎朝霞地区入退院支援ルール完成報告

昨年度は、入退院支援の体制づくりとして、「朝霞地区入退院支援の手引き(入退院支援ルール)」を作成し、すでに地区内の医療、介護関係機関840か所にお届けしました。作成委員の皆様、ご協力ありがとうございました。今年度は、このルールの定着を目指し普及啓発を図っていきます。まずは、入退院時の情報提供書類、本人・家族の方への周知用チラシ等のツールを使ってみていただき、意見・感想をお寄せください。

朝霞地区医師会ホームページ(<http://www.asakamed.com>)

地域包括ケア支援室  開設のご案内  入退院支援ルール より

朝霞地区入退院支援の手引き・参考様式はダウンロードできます。



◎朝霞地区の訪問看護ステーションのネットワーク

コロナ禍のまん延防止策の中ではありましたが「第2回訪問看護ステーション推進メンバーの会」を6月に行うことができました。推進メンバーのお世話役として、さくら訪問看護ステーションの鈴木千恵子さんが選任されました。今後は定期的に会を開き朝霞地区の訪問看護ステーションの連携を深め、住民の皆さまのニーズに対応するサービスに繋げることを目的に取り組んでいきたいと思えます。

◎ACP(アドバンス・ケア・プランニング)推進事業

【医療、介護職へのACP研修会】

～映画「人生をしまう時間」を上映予定～

NHK BSスペシャル「在宅死”死に際の医療”200日の記録」に新たなシーンを加えた2019年公開された映画です。

【住民に対するACP啓発】

～ACP普及啓発講師人材バンク登録制度～

登録医の先生にご協力をいただき、今年度各市で2回、高齢者サロン等地域に出向いてACPの普及活動を行います。

〈令和3年度登録医〉

朝霞市: 稲生実枝先生(塩味病院)

志木市: 檜原正基先生(柳瀬川ファミリークリニック)

和光市: 木下朋雄先生(和光ホームケアクリニック)

新座市: 堀越洋一先生(堀ノ内病院)

改めてACP(advance care planning)「愛称:人生会議」とは、『将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意志決定を支援するプロセスのことです。

患者さんの人生観や価値観、希望にそった将来の医療およびケアを具体化することを目標にしています。』日本医師会(2018)

そして、支援のポイントは日々の対話、丁寧なコミュニケーションが重要とされています。

4月1日からコーディネーターとして着任しました高田幸代です。

地域の皆さまが「住み慣れた地域で自分らしく暮らせる」をモットーに頑張っていきます。よろしくお願いたします。

